

令和7年9月定例教育委員会 議事録

1. 日 時 令和7年9月25日(木) 13時30分から14時35分

2. 場 所 中央公民館 講義室

3. 出席委員 教 育 長 宮 本 隆
教育長職務代理 佐 藤 一 郎
教 育 委 員 本 城 慎 之 介
鈴木 淳子

4. 事 務 局 こども教育課長
生涯学習課長
こども教育課課長補佐兼学校教育係長
こども教育課児童係長
こども教育課子育て支援係長
こども教育課軽井沢高校・教育魅力化推進係長
生涯学習課課長補佐兼社会教育係長
生涯学習課図書館長兼図書館係長

5. 傍 聴 人 0人

1. 開 会

<こども教育課長>

それでは定刻となりましたので、ただいまより 9 月定例教育委員会を始めさせていただきます。

初めに宮本教育長より挨拶をお願いいたします。

2. 教育長あいさつ

<宮本教育長>

皆さんこんにちは。お忙しい中ありがとうございます。

9 月の下旬ということでやっと猛暑が収まって、秋らしくなってきました。もう冬になってしまうような部分もありますが、これで令和 7 年度の上半期が終了するということになります。

私自身も 9 月末までの在任期間が満了しまして、過日議会で人事案について承認をいただきました。引き続きよろしくをお願いいたします。

また、佐藤委員は 9 月末をもって任期終了ということになります。佐藤委員には、職務代理を務めていただき、3 期 9 年間に亘って町政に関しても様々な立場で関わっていただきました。これからも関わっていただくわけですが、この間のご苦勞に大変感謝申し上げます。

また佐藤委員は令和 7 年度のスポーツ推進委員功勞者表彰という文部科学大臣の表彰もこのたび受賞されたということで、大変嬉しく思います。おめでとうございます。

11 月 13 日、14 日に長野市ホワイトリングで開催される第 66 回全国スポーツ推進委員研究協議会の中で表彰者を代表して 3,000 人の参加者の前で謝辞を述べられると伺っております。

ぜひ、本日委員会の最後にご挨拶いただければありがたいと思います。

本日もよろしくをお願いいたします。

<こども教育課長>

ありがとうございました。

それでは次第に従いまして3.報告事項以降は教育長の方で進行をお願いいたします。

3. 報告事項

<宮本教育長>

3.報告事項ということで(1)教育委員会行事・事業報告についてお願いいたします。

<こども教育課課長補佐兼学校教育係長>

資料1ページをお願いいたします。教育委員会行事・事業報告になります。

期間は、令和7年8月28日から令和7年9月25日までです。

8月 28日、第1回議会定例会議 9月会議、役場。29日、軽井沢ゼミ2025、東部小学校・中部小学校・軽井沢高等学校他。31日、第10回泉洞寺杯軽井沢ミックスダブルス 団体戦卓球大会 開会式、軽井沢風越公園総合体育館。9月3日、旧三笠ホテル 議員内覧会、旧三笠ホテル。17日、中保育園運動会、風越公園総合体育館。18日、第1回軽井沢町議会定例会 9月会議散会、役場。19日、東保育園運動会、風越公園総合体育館。20日、発達障がいのある子の保護者と支援者のための講演会、中央公民館。同じく20日、荻原豊次と食の未来を考える集い、中央公民館。22日、『私たちの学校』づくり」軽井沢フォーラム2025、中央公民館。同じく22日、第4回軽井沢オープンドアスクール(仮称)設置準備会議、中央公民館。24日、佐久地区市町村教育委員会連絡会議、佐久合同庁舎。25日、町校長会、中部小学校。同じく25日、9月定例教育委員会、中央公民館。同じく25日、西部小学校東教室棟現場視察、西部小学校。行事・事業報告については以上になります。

<宮本教育長>

何か。ありますか。

<こども教育課長>

9月議会、9月18日で散会いたしました。

議案等を報告させていただきます。

まず、こども教育課からです。議案は1件です。

令和6年度町単西部小学校東教室棟他建設工事の変更請負契約の締結の議案を調定させていただいております。当初契約1,018,842,000円、今回の議案で25,366,000円を増額して、議案可決いただいております。

内容ですが、増工部分として、既存のロッカーもありますが、今後多様な使用を想定してロッカーを追加、学校の前の点字ブロックの改修、新しく建てる東教室棟の防犯カメラの設置、ランチルームのパネルの撤去等を含めて、増額が27,969,556円です。減額が、バルコニーの手すりの仕様変更、フェンスの高さの変更、ランチルームの仕様変更を含めて、減額が4,909,556円ということで、増減額で25,366,000円を増額して1,044,208,000円ということで、議会議決をいただいております。

なお進捗率が約50%ですので、今後1月の竣工までに現場精査等はあるかと思いますが、改めてご報告させていただきます。

もう1件、こちらは専決処分で議会に報告していますが、令和6年度ゼロ町債西保育園マイクロバスの購入です。

昨年度の9月に議決をいただき、今月30日に納品になる予定でしたが、国内3メーカーのマイクロバス受注停止に伴う発注メーカーにおけるマイクロバスの大幅な受要増加や、エンジンとトランスミッションの部品調達の遅れが原因で、業者より期間延長の申し出があり、来年の3月27日まで期間の変更ということで報告しております。議案は以上になります。

続きまして、一般質問がこども教育課は3件です。

まず、1人目は小山議員からです。教育施策の先進的事例から問う当町の現状および課題について、指導主事が軽井沢町内にいない中、軽井沢高校に配置し

ている教育魅力化専門員をもっと活用できないのかという質問です。

今、軽井沢高校に教育魅力化専門員を配置しています。現状、軽井沢高校で関わる業務が多いという部分もありますが、今後小・中学校に係る業務をさらに拡充し、1人の専門員が小・中・高に関わり、教育一貫プログラムの実現や連携をさらに充実させていくと教育長から答弁をさせていただいております。

また、教育魅力化をさらに推進するために専門員だけでなく、本来は県がやらなければいけない正規教員の雇用を町費でする考えは？という質問がありました。

町の方でもいろいろと考えており、支援員やTT講師を配置しておりますが、さらに処遇改善を行い、クラスの授業を受け持ってもらうことや、担任が何らかの事情で欠けた場合に代替教員として採用できるような仕組みを作り、県講師並みの給与条件で採用すべく本年度中に整えていきたいということで教育長から答弁しております。こちらは既に動いており、10月1日には規則改正を行い、募集をかける方向です。

他には、3小学校におけるエアコンについて、通常教室にはあるが特別教室にはないということで設置は急務であるとの意見をいただき、例えば鎌倉市で行っているスクールコラボファンド活用基金等で財源確保をしてはどうかという質問がありました。

町としては、3小学校と中学校の体育館改修を令和15年度までに考えたいと考えており、そこに並行してコラボファンド基金も研究しつつ、それが適しているか、町の財政でできるのか研究し、特別教室のエアコン設置を進めていきたいということで答えております。

また、長期休暇中の放課後子ども教室での昼食について、お昼の提供ができないか、お弁当を作るという家庭の負担軽減になるのでニーズ調査をしていただけないかという質問がありました。

今後、夏休みや春休みの長期休暇でニーズ調査を実施し、また提供できる事業所があるのかも含めて検討していきたいという形で答えております。

2人目は眞島議員になります。

人権教育と子どもへの暴力防止の取り組みということで、児童虐待について、今後町としてどのように進めるのか、また町として児童虐待が増えているかという質問がありました。

数について、全国的に増えているという話がありますが、町では毎年増えているわけではないですし、児童相談所と町の子育て支援センターの連携したり、保健福祉課とも連携しながら行っていると答弁しております。

また、保育園、小学校、中学校ともに県の連携もあり、スクールソーシャルワーカー等とも連携しつつ、スクールサポーターも4人体制と充実させておりますので、悩みや相談についてしっかりと進めていきたいと答えております。

2問目ですが、こども誰でも通園制度の実施について質問がありました。

令和8年度から全国で開始になるということで、軽井沢町として公立の保育園では中保育園での実施を考えており、今ある空き定員枠の中で余裕活用型として誰でも通園制度を実施していきたいと答えております。

また、私立の幼稚園・保育園も希望があれば、実施等について説明し、審査をした上で町が認可を行い、一緒にやっていく形で進めていると答弁しております。

3人目は寺田議員です。

通級指導教室の導入効果について、今後の利用や現状の課題について質問がありました。

通級指導教室を利用しているのが、令和6年度は東部小学校5名、中部小学校9名、西部小学校12名の計26名、令和7年度の5月現在で、東部小学校4名、中部小学校6名、西部小学校9名の合計19名です。

さらに今年度から、中学校で通級指導教室の教員配置があり、専属の教員が入りまして中学校で10名が利用しております。

ただ現状、3小学校全体で利用者が19名になり、1人あたりの通級指導教室利用時間が十分ではないということで、今後県とも調整をしながら、教員の増員を要望していきたいと答えております。

どんな児童が通級指導教室に通っているかという質問に対しては、学習障害、自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、情緒障害の児童が利用していると答弁しております。

9月補正につきまして、こども教育課で一番増額したものは、中部小学校のエレベーター設置工事实施設計委託で1,000万円計上しました。

今年度2年生に、両足の固定をして車椅子で学校生活を送らなければならない児童がおり、治療に2、3年はかかるであろうため、今後もこういった児童に

対応するべくエレベーターを設置したいと考え、実施設計を今年度計上、来年度エレベーター棟を設置するものです。

これから見学していただく西部小学校は、東教室棟にエレベーターがあり、行き来できます。

中部小学校はこれで設置しますが、東部小学校はエレベーターがないので、児童への対応ができるように今後進めていければと考えております。

中部小の補正予算については通っております。

こども教育課からは以上です。

<生涯学習課長>

続きまして、生涯学習課になります。

提出議案は補正予算になります。

主な補正は歳出で、南ヶ丘公民館の建て替え関係の経費を提出し議決いただいております。

南ヶ丘区長より、現在の公民館の老朽化が進み、建て替えをしたいという提案があり協議を進める中で、現在別々の敷地にある公民館、公民館利用者用駐車場、児童遊園及びゴミ集積所を一体として計画したいという話がありました。これらの設置が可能な敷地を南ヶ丘区長が検討していましたが、南ヶ丘会からゴルフ場の改修計画の敷地があり、その一部を提供できるということで、場所は国道18号線の軽井沢バイパスから離山図書館へ通じる町道南原バイパス線の、以前焼肉屋があったところから離山図書館に500mほど進んだ東側になりますが、そちらを建設用地として交換してはどうかと提案がありました。

交換につきましては、現在の公民館敷地と交換先の敷地を不動産鑑定により価格算定し、等価による対等な土地交換を行いたいということで、交換に伴う関連経費を計上させていただいたところです。

議案は以上になります。

一般質問は、眞島議員より1件ありました。

県では子どもの性や権利について学ぶ研修会を主催する団体に補助金を出しているが、研修会を開催する団体に町で補助を行う考えはあるか？と質問があり

ました。

当課としては、人権教育推進のための講師を招聘する予算は既に計上しており、町民等から要請があった場合、講演会の内容が町の施策と合致し、妥当と判断した場合は予算の範囲内で講師報酬を全額支払えると回答してございます。

生涯学習課からは以上です。

<こども教育課長>

1つ追加です。

人事案件を2件出させていただいております。

最終議会になります。教育長の再任を同意として認めていただいております。

また、佐藤一郎職務代理の代わりに新たに大藤敏行氏を教育委員として4年間、10月1日から認め、同意として承認されております。

大藤敏行氏は現在、軽井沢高原文庫の館長並びに深沢紅子の野の花美術館館長をしている方になります。

以上です。

<宮本教育長>

ありがとうございました。その他、関連でも何かありますか。

よろしいですか。

それでは続いて(2)教育委員会の行事日程についてお願いします。

<こども教育課課長補佐兼学校教育係長>

資料2ページをお願いいたします。教育委員会行事日程になります。

期間は、令和7年9月26日～令和7年10月24日です。

9月27日、令和7年度(第46回)日本大学軽井沢公開講座、日本大学軽井

沢研修所。30日、交通安全ポスター審査、中央公民館。10月1日、軽井沢町教育委員着任式、中央公民館。同じく1日、10月臨時教育委員会、中央公民館、同じく1日、重要文化財旧三笠ホテルリニューアルオープン記念式典、旧三笠ホテル。2日、軽井沢中学校「からまつ祭」合唱コンクール、軽井沢中学校。7日、1.15サクラソウの会「バス事故から学ぶ～交通安全を考える～」、軽井沢高校。9日、ICT教育研究部会、軽井沢中学校。17日、東部小学校 開校70周年記念式典、東部小学校。24日、町校長会、中央公民館。同じく24日、10月定例教育委員会、中央公民館。

以上となります。その他のイベント関係につきましては子育て支援係長より説明をさせていただきます。

<子育て支援係長>

資料1、るるぱるだより10号をお願いいたします。

10月の子育て支援センターの主な行事になります。

子育て講演会は、10月21日、火曜日、10時30分から11時30分となります。軽井沢消防署職員による心肺蘇生法講習会として、子どもの命を守るためにと題した講演会となります。相談関係につきましては、随時日頃の困り事などを伺い、相談対応させていただいております。8月の子育て支援センターの利用者数790名、相談件数は69件となります。

<宮本教育長>

ありがとうございました。何かございますか。

<教育委員>

子育て支援センターるるぱるですが、実りの秋になってきて、敷地にある大きな栗の木から栗が落ちていたり、今年はさつまいもやジャガイモを作って親子でそういうことをしていて、実りのある食育ができたり、いろんなイベントもあって、本当にいいことだなと、いいなと感じました。以上です。

<宮本教育長>

ありがとうございます。

<こども教育課長>

10月7日、1.15サクラソウの会のバス事故講演会を軽井沢高校で、14時35分から行います。町でも10月1日にホームページへあげますが、高校生と保護者の方だけではなく住民の方にもぜひ来てもらいたいということです。ご都合がよろしければお越しいただきたいというお知らせです。

<宮本教育長>

今、委員さんからお話ありましたように、実りのあるというのは、本当に実り（食べ物）もあるし実り（学び）もあるという両方ですが、10月7日の収穫祭のときにカレーとかイモ掘りというのがあります。町長、副町長あるいは総務課長がるるるに行って、視察も兼ねて、掘ることはしませんが食べるだけ食べて帰って来ます。ということで、町全体としてもるるるのことを考えているとご承知いただければと思います。

その他よろしいでしょうか。

それでは（3）各種行事への後援等についてお願いします。

<生涯学習課課長補佐兼社会教育係長>

後援等について7件ございます。

行事名、主催者、開催日、場所の順に説明をさせていただきます。

1件目、2025-26 V.LEAGUE女子バレーボール軽井沢大会、一般社団法人ジャパンバレーボールリーグの主催、11月29日、30日、年が明けまして1月10日、11日、2月14日、15日の3回開催します。場所は軽井沢風越公園総合体育館です。

2件目、第27回六地域対抗高校選抜アイスホッケー大会、主催は第27回六地域対抗高校選抜アイスホッケー大会実行委員会、期日が10月11日、12

日と11月2日、3日です。風越公園アイスアリーナと、茨城県笠松運動公園アイススケート場の2会場で開催予定。

3件目、第15回Y E K若い芽のアンサンブルアカデミーイン軽井沢、Y E K実行委員会の主催で、令和8年7月27日から31日まで、軽井沢大賀ホールで開催予定。

4件目、冊子私たちの街の社会見学2026 小諸市・北佐久郡版、こちらは冊子の制作になります。株式会社アイクの主催で、10月1日から募集を始めて8年の3月31日に冊子を作り上げて、株式会社アイクの方で小学校に寄贈するというので、今考えているのは3年生、4年生、あるいは4年生、5年生に配布する計画だそうです。

5件目、第39回長野県高等学校・中学校スピードスケート競技会、長野県スケート連盟の主催（主管は軽井沢スケート連盟）です。期日が11月29日から30日の2日間、軽井沢風越公園のスケートリンクで開催予定。

6件目、エルツおもちゃ博物館・軽井沢2025年 秋冬展「おもちゃが灯すクリスマス」、エルツおもちゃ博物館・軽井沢の主催で10月18日から来年の1月12日まで、エルツおもちゃ博物館・軽井沢 展示館で開催の予定です。

7件目、軽井沢絵本の森美術館2025年秋冬展「魔法の絵本」、軽井沢絵本の森美術館（ムーゼの森）、10月11日～1月12日まで絵本の森美術館・第2展示館で開催予定。

以上の7件ですが、過去に後援の実績がある行事でございますので、教育長の専決で処理をさせていただきました。以上です。

<宮本教育長>

以上7件です。何かございますか。

<教育委員>

—承認—

4. 協議事項

<宮本教育長>

4. 協議事項に入ります。(1) 軽井沢町中央公民館の使用時間及び勤務時間の変更についてお願いします。

<生涯学習課課長補佐兼社会教育係長>

資料2、資料3は関連がありますので一緒に説明します。

まず資料2、軽井沢町中央公民館の使用時間及び勤務時間の変更について、総合文化展が10月31日から3日までの4日間開催されます。それに伴う準備の期間、終わった後の搬出の期間、具体的には10月28日から11月4日までの利用時間を9時から17時までに変更するものです。

変更理由として、文化展の準備から搬出期間は全館貸切となり、午後5時以降に他の団体が使用できないため時間を変更して行うものです。

続きまして資料3は文化展ではなく、文化祭です。文化祭の開催日時が11月15日土曜日になります。その前日の11月14日、金曜日を先ほどと同じく9時から17時までの使用時間で変更したいということです。

文化祭前日は会場準備で、午後5時以降の利用者がいないので変更させていただきたいと思いますが、この2件についてご審議のほどお願いいたします。

<宮本教育長>

ご意見いただければと思います。

私の方から質問で、新庁舎になったとき、こういうこと自体を教育委員会に諮らなければいけないということについて、例えば学校の先生はフレックスタイム、時差勤務等を導入していますが、町としての方向性はどのようなのでしょうか。

<生涯学習課課長補佐兼社会教育係長>

資料2に内規があり、第2条第2項に「午後5時後に公民館を使用する者がいないときであって、教育長が認めるときは」という記載があるので、それに基

づいてご審議いただいています。

新しい施設になって指定管理ということになれば、この辺のルールを都度諮っていくというより、フレキシブルに対応していく方がいいかなとは思っています。

<宮本教育長>

少しそういったことを考えていきながら、ということをお願いします。

<教育委員>

—承認—

<宮本教育長>

(2) 軽井沢夏期大学世話人の交代についてお願いします。

<生涯学習課課長補佐兼社会教育係長>

資料4をお願いいたします。軽井沢夏期大学の世話人の交代について、夏期大学の現世話人である京都大学名誉教授の渡邊尚さんより世話人退任の申し出と新たな世話人の推薦がありましたので、軽井沢夏期大学世話人の交代を今回教育委員会でお諮りしたいというものでございます。

退任される世話人、京都大学名誉教授の渡邊尚先生におかれては、夏期大学に30年携わっていただき、講師の選定はもちろん、夏期大の運営に関すること、特にコロナ禍のときには開催方法の検討やご助言など、大変ご尽力いただきました。

7ページにありますが、今年の1月に渡邊先生から宮本教育長、事務局長の山崎伸一校長宛に書簡をいただいております。30年の節目ということで退任する申し出がございました。

後任の世話人については、上智大学特任教授の荻谷剛彦先生でございます。

荻谷先生は、1979年に東京大学教育学科教育社会学コースを卒業され、そ

の後東京大学の名誉教授、京都大学の特任教授を経て、現在は京都大学人と社会の未来研究院の特定教授で、ご専攻は社会学、社会教育学でございます。

受賞歴は、2023年に紫綬褒章を受章されております。

荻谷先生につきましては、もう1人の世話人である上野先生から推薦をいただき、今回の第77回夏期大学にも事前に来ていただいて、3日間受講していただいた経過もございます。大変温厚な、人当たりのいい先生でございます。

教育長から何か補足ありますか。

<宮本教育長>

荻谷剛彦先生の名前を聞いたときはびっくりしました。

教育関係では大変著名な方で、特にオックスフォード大学の先生をやられている中では、右側の著作の中身を見ると、教育社会学、要は教育の中における階層格差の問題点を最初の段階で指摘している先生ですので、こういう先生に入っていただくのは大変ありがたいということで、夏期大学に関しても社会学的な側面がかなり入ってくるのではないかと考え、大変感謝申し上げます。

以上です。

<生涯学習課課長補佐兼社会教育係長>

ご審議、お願いしたいと思います。

<宮本教育長>

何かありますでしょうか。

<教育委員>

—承認—

<宮本教育長>

ありがとうございます。

それでは（３）各種行事への後援等について３件お願いします。

<生涯学習課課長補佐兼社会教育係長>

資料５をお願いいたします。

令和７年９月１０日付で申請がございました名義使用申請です。

申請者が長野県アイスホッケー連盟会長の中村慎、事業名称は「２０２５軽井沢少年アイスホッケー大会（中学生の部）」です。主催者は長野県アイスホッケー連盟、実施日が令和７年１１月８、９の２日間、風越公園アイスアリーナで開催予定です。参加費は１チーム８万円でございます。

こちらは例年、後援をしておりますが、今まで軽井沢少年アイスホッケー大会実行委員会という組織が主催でしたが解散をしたため、主催者が長野県アイスホッケー連盟に変更しております。

内容については、例年と同じです。

よろしくご審議のほどお願いいたします。

<宮本教育長>

いいでしょうか。

<教育委員>

—承認—

<生涯学習課課長補佐兼社会教育係長>

続きまして、資料６をお願いします。

令和７年９月５日付で申請がございました名義後援申請です。

申請者はナカマノコエ 代表 津田尚子、事業名称は「うんはまわるよ?!どこまでも～江戸VS未来の循環～」です。主催者がナカマノコエ、実施日が１０

月25日、土曜日、発地市庭イベントスペースで開催予定。参加費等は500円、1,000円、1,500円の選択制となっています。

3ページ、申請書の事業の趣旨は、江戸時代の「うんち」をテーマにした映画やアニメの鑑賞を通し、これからの循環社会について考えるということです。

4ページの企画書タイムテーブルですが、午前中に映画の上映、ゲストトーク、ランチがあり、午後にも映画を上映、またゲストトークという流れで行い、参加費は大人子ども問わず、個々の判断で500円、1,000円、1,500円から選んでいただくとのことです。

5ページに収入・支出がありますが、それぞれ146,210円と、同一価格です。その下の※印にありますが、当イベントは「長野県地域発元気づくり支援金活用事業」の一部となります。県で行っている元気づくり支援金の申請状況を確認したところ、確かに申請が通っておりますのでご報告させていただきます。以上です。

ご審議お願いいたします。

<宮本教育長>

何かご意見等ございますか。

<教育委員>

—承認—

<生涯学習課課長補佐兼社会教育係長>

続きまして、資料7をお願いいたします。

こちらは9月11日付で申請がございました名義使用申請です。

申請者は特定非営利活動法人子どもとメディア 代表理事 佐藤和夫、事業名称は「第12回子どもとメディア全国フォーラム」、主催者が特定非営利活動法人子どもとメディア、実施日が令和8年3月21日、土曜日、実施場所は福岡県春日市クローバープラザと軽井沢町中央公民館での同時開催です。

参加費は4,000円、事後視聴のみの場合は3,000円です。

3ページ、申請書の名義使用を必要とする理由に、「このフォーラムの共催者である子どもとメディア信州は、長野県知事部局（次世代サポート課）、長野県教育委員会、市町村教育委員会等から委託を受け、長野県内小中学校での情報モラル・リテラシー教室へ講師を派遣しています。軽井沢町からも委託を受けていて、軽井沢町内の学校に講師を派遣しています。」と記載がございます。子どもとメディア信州については、町内3小学校、中学校に講師として来ていただき、特にネット環境の問題について講演をいただいております。今週の日曜日にも、子どもとメディア信州の方々に来ていただき、木もれ陽の里で講演会を開く予定になっております。

4ページの開催趣旨には、「コロナ渦により、対面での人とのつながりが制限され、その代替としてオンラインでのつながりが急速に広まりました。その影響で、子どもたちの外遊びは減少し、スクリーンタイムは大きく増加しました。」と書いてあり、中段にあります、「今回のフォーラムでは『子どもとメディアの新しい関係を求めて』という当法人のミッションに立ち返り、日々進化し、ときに暴走するデジタルメディアといかに望ましい関係を築いていけるのかを考えます。」という趣旨だそうです。

参加対象者は医療関係者、教育関係者、子どもNPO関係者、行政関係者、一般市民、学生などとなっております。

6ページ収入・支出がございます。収入は参加費、寄付等を含め1,030,000円、支出は人件費と経費を含めて1,195,000円ということで、差引き165,000円が赤字になりますが、その分は主催者負担という記載がございます。

11ページ12ページはチラシです。福岡会場と軽井沢会場をつなぎますという記載がありますので、ウェブ環境で繋ぐのではないかと思います。

13ページ14ページには先ほど説明しました子どもとメディア信州がやっている事業についてのチラシがございます。以上です。

よろしくご審議のほどお願いいたします。

<宮本教育長>

ありがとうございます。

資料が多いですが、ご意見ありますか。

<教育委員>

小さいことで、佐藤和夫さんは代表理事で申請書が上がっていますが、10ページの附則では、常務理事になっています。

<こども教育課長>

そうですね。一番下を見ると、附則が令和元年で終わっていますので、改正したかもしれないですね。

<宮本教育長>

確認をしていただくということで、承認でよろしいでしょうか。

<教育委員>

—承認—

<宮本教育長>

協議事項は以上でよろしいでしょうか。

それでは、5番その他をお願いします。

5. その他

<こども教育課長>

資料8をお願いいたします。

軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置準備会議につきまして、本来ですと定例教育委員会へ先に出さなければいけないものでしたが、後出しになってしまいました。報告が遅れまして申し訳ございませんでした。

9月22日の第4回軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置準備会議において、設置場所を提示させていただいております。

新たにつくる軽井沢オープンドアスクール（仮称）につきまして、設置形態および設置場所選定にあたっての視点を基に、軽井沢町内の公共施設を事務局として議論し、候補地の比較ということで出させていただきました。

案としては、軽井沢高校、東部小学校、植物園の展示館になります。

なお、軽井沢オープンドアスクール（仮称）の新設は町としても考えておりませんので、今ある既存の公共施設をもとに、どこに設置するのが一番適しているのかということで、設置準備会議にも資料を出させていただきました。

候補地の比較の表に1～5とあり、これは設置場所選定にあたっての視点の1～5についての記載ですが、この条件で見ると、現段階では軽井沢高校が全て「○」、東部小学校は改修等を含めると、確かに人数は少なくなっていますが、特別教室にしたり、改修して4教室を児童館にしており、増築が必要になりますので、そこが弱い部分となります。

植物園の展示館は、敷地面積が283㎡と少ないので、大規模改修しなければならず、この2か所は難しい部分があります。

軽井沢高校とも話したところ、北校舎が4教室程度空いているということで、妥当ではないかと提示しました。

委員さん達にご意見を伺い、今後行くであろう子どもたちの意見を聞いた方がいいのではないかと意見もありましたので、事務局としても不登校、不登校傾向の子どもたちに、どんな学校がいいか聞いていこうと考えております。

事務局案としては、今のところ軽井沢高校の北校舎を利用して設置していきたいということを第4回で申しました。

今後も、第5回で意見を聞くということで、会議を開催していきます。

後出しになってしまい申し訳ありませんが、今後は定例教育委員会に事前に諮るような形で教育方針や教育課程の部分は提示させていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

<宮本教育長>

新聞でも報道されて、大体中身についてはご存じかと思いますが、これについて、ご意見等あればどんどん出していただければと思います。

<教育委員>

県から町に貸与されるのか。

<宮本教育長>

あそこで質問は出ませんでした。基本的には町から県に問い合わせをして、前向きに検討していただけるという返答をいただいている状況です。

<教育委員>

町が改装工事等を行うのか。

<宮本教育長>

町でやるのですが、初めてのことなので、どのようにやっていくかはまだわからないので、県と協議しながらやりたいと思います。

<こども教育課長>

国の補助もありますので、国の補助金を使いつつ、町の投資も当然必要になる形になると思います。

来年度やらなければいけないので、早め早めに皆さんお知らせできるように、進めてまいります。

<教育委員>

ちょうどいいですね。北校舎の1階も2階も広々使えるし。

<こども教育課長>

一旦、2階をフルで使わせていただく形で協議を進めている段階です。

<宮本教育長>

1階の方も、LLとか職員室は空いていて、使っていい感じなので。

<こども教育課長>

そこをうまく使えば、一番良いと考えています。

夜間中学をやったとしても、こっち側の校舎に入らないようにする等のすみ分けができるので、そこの辺もちょうどいいのかと考えます。

<教育委員>

いい机も入っているし。

<こども教育課長>

だけど、相当改修しないと駄目なので、そこはかなり手入れします。

<宮本教育長>

委員が言うように、学校の雰囲気や空気など、そこら辺をどうするかが重要なので、そこら辺を先生方と検討しながらやっていきたいと思います。

続いて、2番目の庁舎改築周辺整備事業の進捗状況についてお願いします。

<生涯学習課課長補佐兼社会教育係長>

資料9をお願いいたします。

まず、今日資料はありませんが、公民館の登録団体への意見聴取を6月にやりました、その状況をホームページ等に記載しています。

登録団体の皆さんの意見をなるべく吸い上げるということで今進めていて、極端なものも1、2件はありましたが、それ以外は取り入れていく方向で検討しております。

さて今回は、7月16日にやった職員説明会の報告をさせていただきます。

職員の意見を蔑ろにしていたわけではありませんが、ちょっと遅れたタイミングで聞いたので、意見百出というか、12ページまであるように136も意見が出ています。

特に、1ページ目のロッカー室や、3ページ目の職員休憩所については、もう少しゆったりしたところが欲しいという意見が多く出ております。

また、執務室についてもちょっと狭いのではないかとの意見がありますが、その辺はフリーアドレスもうまく使っていくようなことで検討はしております。

前回申しあげましたブロックプランを今、7月以降精査して進めているところで、13ページがブロックプランの進化系です。

もう、ほぼ出来上がってきた段階と言えるかもしれません。

そんな形で進んでおります。

15ページにあります、令和4年の計画を今実施したら162億円かかったということで、面積も14,200㎡をスリム化し、9,000㎡にすることで、125億円にまで下げたというようなことを記載してございます。

16ページはその比較です。

緑が令和4年の設計額です。その設計を令和6年8月に建築した場合、いろんな経費が上がっていますので、一番下の段で162億円かかりますというのが書いてあります。

今回、Cの薄い青色の部分のところで、面積を9,000㎡にすることで総事業費は120～125億円に減るとなっています。

しかし、17ページの他自治体との比較を見ると、㎡当たりの単価が那須塩原も明石も、84万、86万かかっています。

これは、RC造・鉄筋コンクリート造の単価ですが、今80万円で計算している軽井沢町は、これでは設計が甘いではないかと懸念されているところです。

最後のページについては、建築費の上り幅を見たもので、赤い線と緑の線と青

い線があります。

急勾配に上がった場合は14%ぐらい上がるということで、80万円では足りないのではないかという意見もでていますし、実際そうなるかもしれませんので、今、戦々恐々としている状況です。

いずれにしても、このブロックプランは年内ぐらいには固めるということで、先週も庁舎改築周辺事業推進委員会に職務代理、委員に出ていただき、私は出席できませんでしたが、委員に色々な意見をいただいたので、議論が盛り上がって大変よかったと担当課の職員がお礼を申しておりました。

以上、報告させていただきます。

<宮本教育長>

ありがとうございました。

庁舎の関係で何か補足等ございますか。

<教育委員>

先ほどお話があったように、この庁舎を一番利用する職員のことを考えないと駄目で、職員の方が使いやすいような形に持っていくのが本来かなということで、委員会の中でもどちらかという利用しない方から意見がよく出ているわけですが、そうではなくて、職員が入ったときに本当に使いやすいように考えないといけないという話が出ました。

前回、1番浅間山の景色が良い2階を、議会の委員会室に使うのはもったいないのではないかという意見もありました。

まだ時間はあり、これから各区にも説明があるわけで、中軽井沢区も29日に行いますが、やはり職員のロッカーや食事するところなどについて、職員が机の上でご飯を食べているのは可哀そうな気がしますので、もう少し休憩できるような場所を新しく考えていただければと思います。

<生涯学習課課長補佐兼社会教育係長>

ありがとうございます。

今、委員がおっしゃったように、職員のスペースはもう削れない。

どちらかという増やす方向で、そうすると交流施設の方を削らなくてはいけないので、私は立場上、ちょっと痛し痒しですが、設計者の方で材木を鉋で削るように少しずつ減らしている状況と聞いております。

<宮本教育長>

その他、よろしいでしょうか？

<こども教育課長>

10月1日付人事異動の内示が出ました。

係長以上職で異動となったものを報告させていただきます。

こども教育課ですが、児童係長の南雲が税務課へ異動となりました。

新たに、総務課から昇格として、遠山裕さんが係長として来ます。

また子育て支援係長の小川は、異動はありませんが、昇格で課長補佐兼係長となりました。

以上です。

<生涯学習課長>

続きまして、生涯学習課です。

中央公民館長の新海が異動となりまして、税務課より柳澤陽平が公民館長として昇格で参ります。

新海は、こども教育課の長倉地区児童館と中軽井沢児童館の兼務辞令が出て異動となっております。

以上です。

<宮本教育長>

その他よろしいでしょうか。

<生涯学習課課長補佐兼社会教育係長>

ウィスラー交流事業についてです。生徒10人をお招きする事業が10月23日から29日で受け入れることになっています。

町内各施設や、長野市にも1日行って、軽井沢や日本の文化体験をしていただくことを計画していますのでご承知おきください。

以上です。

<宮本教育長>

その他ございますか。

<教育委員>

会議の席上、申し訳ありません。

教育長からもお話あった通り、今月いっぱい教育委員を降ろさせていただくことになりました。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

振り返ってみますと、前職の中軽井沢郵便局長時代に教育委員をやってくれということで就任させていただきました。教育畑というのは初めて担当させていただきましたが、教育委員会というのは難しい大変な仕事と感じております。

また、町の教育委員会は日本中からも一目置かれており、非常に素晴らしい教育委員会だと話を聞いております。

新しい事業が目白押しで、担当する皆さんも大変かと思いますが、胸を張っていい仕事ができるといえる委員会かなと思います。

もう1期と教育長から言われましたが、若い人にバトンタッチするのがちょうどいいかなというような気がいたします。

そんなことを思っていたら、中軽井沢区の副区長、分館長をやれという話があり、そちらの方がキツイかなということもありますが、毎日飛び歩いているというのが実態でございます。

まだスポーツ推進系の会長もやっておりますし、何といてもＳＣ軽井沢のカーリング担当もやっております、うまくいけばイタリアに行けるかなというふうな気がしますけれども、何とか優勝してオリンピックに出られるように後押ししていこうかなと思っています。

まだまだ軽井沢高校の関係もありますので、教育委員は降りますが、教育委員会の方にはお世話になると思いますので、一つ、何分にもよろしく願いいたします。本当に長い間本当にありがとうございました。

以上でございます。

<宮本教育長>

ありがとうございました。

それではお返しします。よろしく願いします。

6. 閉会

<こども教育課長>

以上をもちまして9月の定例教育委員会を閉じさせていただきます。

ありがとうございました。